



男と女は、わかりあうことができるのだろうか？

2019年5月12日(日) 13:40 開場 14:00 上映

常葉大学静岡草薙キャンパス A209 講義室 入場無料

主催：静岡 THE RED PILL 上映委員会

協力：静岡親子の会

協賛：Co そだて株式会社

後援：静岡新聞社・静岡放送

お問い合わせ

〒420-0857 静岡市葵区御幸町 11-8 レイアップ御幸町ビル 2F

TEL 054-270-8550 (Co そだて株式会社内 担当:細川)

E-Mail: shizuoka.redpill@gmail.com

<https://shizuoka-redpill2019.amebaownd.com/>



THE RED PILL

2016年、アメリカ、ドキュメンタリー(120分)

[予告編動画](#)はこちら→



監督: キャシー・ジェイ

フェミニストであるキャシー自身が、男性権利活動家たちにインタビューを行った。キャシーは、「女性が弱く、不利な立場にある。」という自らの信念に疑問を持ちはじめた。そして「男性たちも、社会の中で犠牲を払い、不利益を被っていること。」に気がついた。

オーストラリアで、過激なフェミニストにより上映が中止された話題作。

観客の声

もやもやしたものが残ったのが良かった。なぜあそこまでレッテルをはりきって批判できるのだろうか？ 人間的には、皆おもしろそうな人たちばかりだ。(40代男性)

「男性は強く、女性は弱い」という一元化した考えではなく、男性も女性も被害者であり加害者であると思う。大きくない声をもっと聴きたい。そして考え続けたい。(30代男性)

男も女も本当の意味で平等、対等になる日が来るといいと思います。女だから、男だからということがこの世の中には多いと感じます。(30代女性)

男女平等に近づきつつあると思っていましたが、男性の側に個人的努力にも関わらず社会的な生きづらさがあると知りました。(70代女性)

今の社会は、男性も生きづらいらうなあと感じていました。性を問わず誰にとっても一人ひとりが自分らしく生きることが出来る社会が望ましいと思います。(40代女性)

静岡 THE RED PILL 上映委員会

「静岡親子の会」有志を中心に結成された上映委員会。

「静岡親子の会」は家族不和を原因に我が子に会えなくなった人々を中心に運営されている。我が子と一緒に住むようになった者、我が子と定期的に会うようになった者がいる一方で、数年以上に及び我が子に会うことができていない者もいる。当事者同士の互助活動のほか、共同親権・共同養育のために社会活動を行っている。

常葉大学静岡草薙キャンパスへの行き方

静岡県静岡市駿河区弥生町6番1号

公共交通機関でお越しの方

JR草薙駅北口より徒歩7分

静岡鉄道草薙駅より徒歩10分

お車でお越しの方

東名高速清水ICより 15分(6.0km)

東名高速静岡ICより 25分(9.5km)

